



福岡女学院看護大学大学院

GRADUATE SCHOOL OF FUKUOKA JO GAKUIN NURSING UNIVERSITY

看護学研究科 看護学専攻 修士課程



学長挨拶

豊かな人間性と愛と精神を育み、

充実した実習で専門的な知識や技術を培います

福岡女学院はキリスト教の精神に基づく女子教育を建学の理念として開学し、間もなく140年を迎えます。現在は、幼稚園から大学までを擁する総合学院に成長し、2008年に看護・医療での社会貢献を希求し福岡女学院看護大学を開設しました。本学では、他大学との競争ではなく、「本学だからできる」「本学がすべき」をモットーに、独自の領域横断的な看護教育開発（ミッションモデル）を意識して進めています。その一つが「看護に特化した開放型シミュレーション教育センター」建設と「看護シミュレーション教育学分野」の新設です。ミッションモデル開発を進める中で、独自のICT教材（ミッションタウン）、学生参加型教育システム、開放型生涯学習教育システム、他施設との連携教育システム、看護OSCEセンターなどが次々と生まれています。

次なるステップとして2023年度に大学院（修士課程）を開設しました。

福岡女学院看護大学大学院では、「領域横断的な指導体制」と「充実した開放型教育・研究施設」を整備し、教員・研究者養成を通して本邦の看護教育の質の向上（特に、シミュレーション教育）への貢献を目指します。前学長の片野光男先生の志を引き継ぎ研究科長の八尋陽子先生とともに全力で取り組みます。

ぜひ、本学の門を叩いてください。明日の看護教育に想いを馳せ共に学びましょう。

福岡女学院看護大学学長 松永 彰

研究科長挨拶

福岡女学院看護大学大学院 看護学研究科（以下、本大学院）は、2023年4月にシミュレーション教育を中心とした看護教育の実践者・研究者を養成する機関として開設しました。

シミュレーション教育は臨床現場を再現した学習環境で、模擬的に看護を経験し仲間と学びを深める、日本では比較的新しい教育手法であり、指導者を育成する機関が少ないことが課題でした。

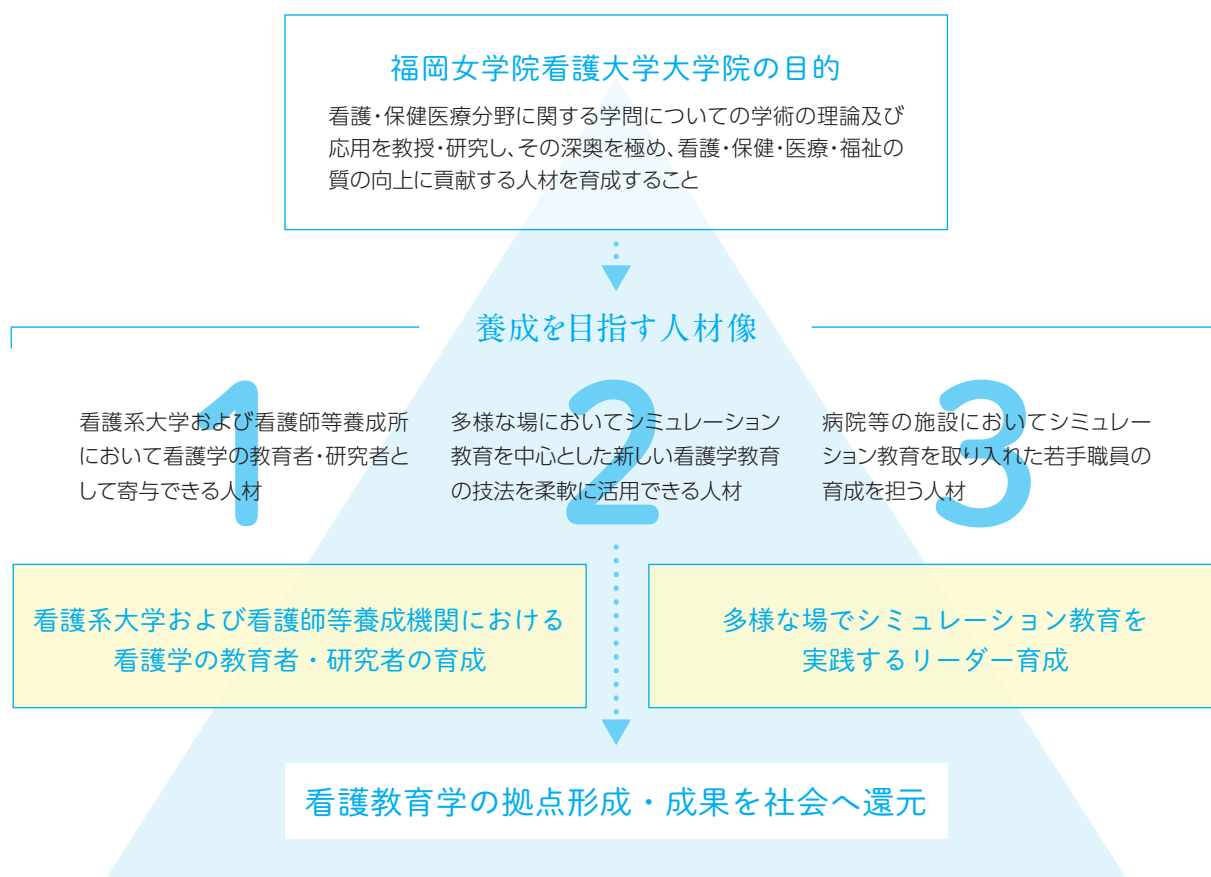
そこで、本大学院では国内初となる「看護シミュレーション教育学特論」や「看護シミュレーション教育学演習」の科目を設け、高度で質の高い専門的知識・技術を学び、シミュレーション教育を発展させる教育の実践者・研究者の育成を行っています。他にも、看護教育の基本である授業設計や指導方法、評価などを学ぶ科目や、キリスト教の理念に基づいたヒューマンケアリングを探究する科目も設計しています。

これらの学びを通して、修了時には教育者・研究者とし幅広い価値観をもち、これからの看護教育学の発展に寄与できる人材に成長できていると確信しています。

本大学院には、シミュレーション教育が実践できる充実した設備と経験豊富な教員が皆さんをお待ちしています。共にこれからのシミュレーション教育の発展に向けて歩んでいきましょう。

大学院看護学研究科長 八尋 陽子

シミュレーション教育を中心とした 看護学教育が実践できる教育者・研究者を育成します。



学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]

- 1 ヒューマンケアリングに基づき、他者に関心を持ち、自ら進んで看護専門分野の課題に取り組む能力
(主体的な学び・態度・志向性)
- 2 さまざまな専門職と協働し、リーダーシップを発揮できる能力
(協働)
- 3 シミュレーション教育に関する知見を体系的に収集し理解する能力
(知識・理解)
- 4 グローバルな視点をもって、看護専門分野の研究および実践の動向を把握し、批判的に吟味し、統合する能力
(適用・分析)
- 5 高度化する医療と社会現象を捉え看護教育に適応させる能力
(適用・分析)
- 6 看護専門分野に関する多様な現象から課題を見出し、シミュレーション教育を実践し研究的に取り組める能力
(実践)
- 7 研究結果を分析・評価し、今後の展望を踏まえて論文としてまとめる能力
(評価・創造)

教育課程の編成・実施の基本方針 [カリキュラム・ポリシー]

質の高いシミュレーション教育を中心とした看護学教育を実践する教育者・研究者が身に着けるべき資質・能力を修得するためのカリキュラム・ポリシーは以下の通りです。

- 1 ヒューマンケアリングに基づき、他者に関心を持ち、自ら進んで看護専門分野の課題に取り組む能力を養成する科目
(主体的な学び・態度・志向性)
- 2 さまざまな専門職と協働し、リーダーシップを発揮できる能力を養成する科目
(協働)
- 3 シミュレーション教育に関する知見を体系的に収集し理解する能力を養成する科目
(知識・理解)
- 4 グローバルな視点をもって、看護専門分野の研究および実践の動向を把握し、批判的に吟味し、統合する能力を養成する科目
(適用・分析)
- 5 高度化する医療と社会現象を捉え看護学教育に適応させる能力を養成する科目
(適用・分析)
- 6 看護専門分野に関する多様な現象から課題を見出し、シミュレーション教育を実践し研究的に取り組める能力を養成する科目
(実践)
- 7 研究結果を分析・評価し、今後の展望を踏まえて論文としてまとめる能力を養成する科目
(評価・創造)

履修モデル 必修科目 選択科目

1年次		2年次		修了
前期	後期	前期	後期	
2単位 ヒューマンケアリング看護論	2単位 健康支援論	2単位 看護倫理学特論		
4単位 看護教育学特論	4単位 看護教育学演習	2単位 看護マネジメント論		
2単位 看護研究方法論I	2単位 看護研究方法論II	2単位 看護シミュレーション教育学演習		
8単位 特別研究	2単位 看護シミュレーション教育学特論			
研究テーマの決定		倫理審査/データ収集・分析/論文作成		論文審査 - 学位授与

修了要件 [30単位以上]

- 必修科目から26単位、選択科目から4単位以上を修得すること
- 本大学院が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること



大学院生から 受験生への メッセージ

大学院の講義では、少人数のため教員と院生で意見交換しながら教育学や看護研究について基礎から学ぶことができます。また、講義やシミュレーションを実践し、学びを深化させています。選択科目は、1・2年合同のため院生間の交流も深く、年齢や経験、研究分野の異なる仲間から新たな知見を得ることができます。先生方が親身に寄り添って指導して下さり、ライフスタイルに合わせてじっくり研究に取り組むことができる環境も魅力です。

研究分野の概要

シミュレーション 教育学	●シミュレーション教育学では、看護学教育の実践に必要な知識・技術を身につけ、教授設計や教材開発及び評価方法を体系的に学び、知見を深める。 ●シミュレーション教育、eラーニング、ICT教材などを活用した看護学教育実践に関する研究課題に取り組み、修士論文作成の一連の研究プロセスを教授する。
基礎看護学	●技術、看護管理、ヒューマンケアリングに関する研究、その他、基礎看護学分野において各自が関心を寄せる看護をテーマとする研究課題をもとに、修士論文作成の一連の研究プロセスを教授する。 ●看護の基盤となる「人間と環境」を中心テーマとして、人間と情報環境、生命科学教育、環境微生物を研究課題として修士論文作成の一連の研究プロセスを教授する。
成人看護学	●成人看護学に関するシミュレーション教育等、アクティブ・ラーニングの実践・評価、がん看護を研究課題とした修士論文への一連の研究プロセスを教授する。 ●全人的な視点からみたがん医療と緩和ケアに関するICT教材（ミッションタウン）を活用した看護教育の研究課題をもとに修士論文への一連の研究プロセスを教授する。
老年看護学	●老年看護実践につながる概念やモデルの理解を深めるとともに、国内外の社会的動向や教育および研究の現状を分析的に探究する。その上で高齢者の生涯発達と適応、End-of-Life-Care、尊厳を守る看護実践、高齢者ケアに従事する看護職のストレスマネジメントなど老年看護における質向上を目指した研究テーマに基づき修士論文執筆に係る研究のプロセスを支援する。
母性・小児看護学	●母性小児分野に関するシミュレーション教育学や他の教授法の元、母性・小児看護学における教育・看護実践に関する課題に取り組み、修士論文への一連の研究プロセスを教授する。 ●不妊の問題を抱える女性およびカップルへの支援、不妊症看護・生殖看護におけるケア開発等の課題 ●養育期の家族機能や世代間における子育て支援、病気や障害をもつ子どもと家族の支援、医療的ケアが必要な在宅療養児と家族の支援等の課題
精神看護学	●精神看護学では、高度な専門性を身につけ、将来、精神看護の実践・教育・研究の各分野で活躍できる人材の育成を目指している。 ●精神看護および関連する精神保健の領域において、こころの健康問題を抱える人およびその家族への様々な支援方法を学び、これらの問題解決のために必要な国内外の最新の知識や技術を探究する。そして自らの関心領域をふまえ、研究課題を焦点化し、教育学や倫理学など関連する学問も学びながら、修士論文への一連の研究プロセスを教授する。
地域・在宅看護学	●地域・在宅看護学及び地域・在宅看護教育を研究テーマとする研究課題をもとに、修士論文作成の一連の研究プロセスを教授する。 ●地域・在宅看護の理論や方法論を理解し、地域・在宅看護を基盤とした看護実践の応用や教育方法の構築など地域包括ケアシステムに還元できる一連の研究プロセスを教授する。

修了生から 受験生への メッセージ

私は「学生に伝えたいことがうまく伝わらない」という思いから、看護教育を学ぶため進学しました。講義では、教育の基礎から学習者が能動的に「考え、行動する」を促すアクティブ・ラーニングを学び、演習で実践経験もしました。仕事と学業の両立は大変でしたが、講義で学んだ看護教育を勤務先で実践しながら理解を深められることが魅力だと思います。また、少人数制で講義時間の調整など流動的に対応していたので、仕事と学業との両立に不安をもつ方にこそ、本大学院をお勧めします。

看護学研究科修士課程の特徴

シミュレーション教育を体系的に修得できる教育課程

シミュレーション教育の基盤となる看護教育学の知見を深め、シミュレーション教育の基本・シナリオ設計、指導技法を体系的に学び、必要な知識・技術・態度を修得できるプログラムが特徴です。

具体的には、「看護教育学特論」で看護学教育の基礎となる諸理論や教育課程の構築、教育評価等について知見を深め、「看護シミュレーション教育学特論」「看護シミュレーション教育学演習」を学修します。



充実した教育・研究環境

2016年に開設したシミュレーション教育センターは、病院や在宅場面などの現場を模擬的に再現した中で繰り返しながら学ぶことができる施設です。2021年にはOSCEセンターも併設し、看護職に求められる知識・技術・態度の統合を体験しながら、教育者・指導者としての学びを深めることができる環境です。

図書館やネットワーク環境も完備されており、大学院研究室では自身の研究課題に取り組むことができます。



研究分野を超えた指導体制

2017年度より全看護領域でシミュレーション教育を導入しており、各領域のシミュレーション教育の教育者・研究者からの指導が受けられます。シミュレーションの実践報告や情報交換など研究分野を超えた視点から助言を受けることができ、自身の研究課題を発展させることが可能です。



入学者受け入れ方針 [アドミッション・ポリシー]

- 1 協働性とリーダーシップを備え、自ら進んで看護専門分野の課題に取り組む意欲がある人
(主体的な学び・協調)
- 2 看護専門分野の基礎知識を持ち、看護学教育におけるシミュレーション教育に対して、関心を持つ人
(知識・理解)
- 3 物事を多面的に捉え、適切な判断ができる人
(適用・分析)
- 4 研究マインドを持ち、論理的思考と柔軟な発想を持つ人
(実践・評価・創造)

修了生から 受験生への メッセージ

大学院では、少人数制ならではの密な指導を受けながら、自身の研究を進めることができました。多様な背景を持つ大学院生の仲間と意見交換を重ねることで、自分が経験していないことでも、学びを深められたことが魅力でした。ティーチングアシスタント(TA)として実際の大学の授業を見学したときは、学生の理解度や反応を間近で見ることができ、教育者としての視点が身につけると感じました。

安心して学べるサポート体制があります。

昼夜開講制

授業は昼夜開講としており、フレキシブルな履修プランを立てることが可能です。社会人学生の勤務状況を考慮して、授業日を夜間または平日の週1日に集中させています。

長期履修制度

働いていて授業に出席できる日数が足りないなど、様々な事情で標準の修業年限（2年）では修了することが困難となる方を対象に、長期（3年又は4年）にわたり計画的に教育課程の履修を認める制度です。仕事を休職・退職することなく、安心して学ぶことができます。

科目等履修制度

本大学院の授業科目を履修し、単位を修得することが可能です。本学の大学院入学資格を有する方を対象とします。年間10単位を上限に履修が可能です。単位を修得した方には単位習得証明書を発行できます。

研究生制度

本大学院で特定の研究課題に取り組みたい方は、大学院研究生として研究指導を受けることができます。修士の学位を有する方、または同等の学力を有する方が対象となります。本大学院の授業の聴講も可能です（但し単位の修得はできません）

オンライン授業

eラーニングを活用したオンライン授業を行います。自宅や職場などインターネット環境があれば、場所や時間に縛られることなく、自分のペースで学ぶことができます。

ティーチング・アシスタント

学部の教育補助業務を行っていただく制度です。手当支給があり、学業に専念するとともに、指導者としてトレーニングの機会を提供することを目的としています。

リサーチ・アシスタント

研究プロジェクト等に研究補助者として参画してもらい、研究遂行能力の育成を図ることを目的とした制度です。

大学院聴講生・特別聴講生制度

本大学院の授業科目の聴講が可能です。本学の大学院の入学資格を有する方を対象とします。聴講可能な授業は年間10単位が上限です。他の大学院（修士課程）に所属している方は、特別聴講生として在籍可能です。

学費・入試の詳細情報

種類	入学検定料	入学金	受講料	施設設備費等 又は手続き費用
大学院生	30,000 円	300,000 円	700,000 円(年額)	200,000 円(年額)
長期履修生 (3年)	30,000 円	300,000 円	467,000 円(年額)	134,000 円(年額)
科目等 履修生		10,000 円	本大学卒業生 15,000 円/単位 他大学卒業生 30,000 円/単位	10,000 円
聴講生		10,000 円	25,000 円/単位	
特別聴講生		10,000 円	30,000 円/単位	
研究生	10,000 円	30,000 円	研究指導料 300,000 円/年	

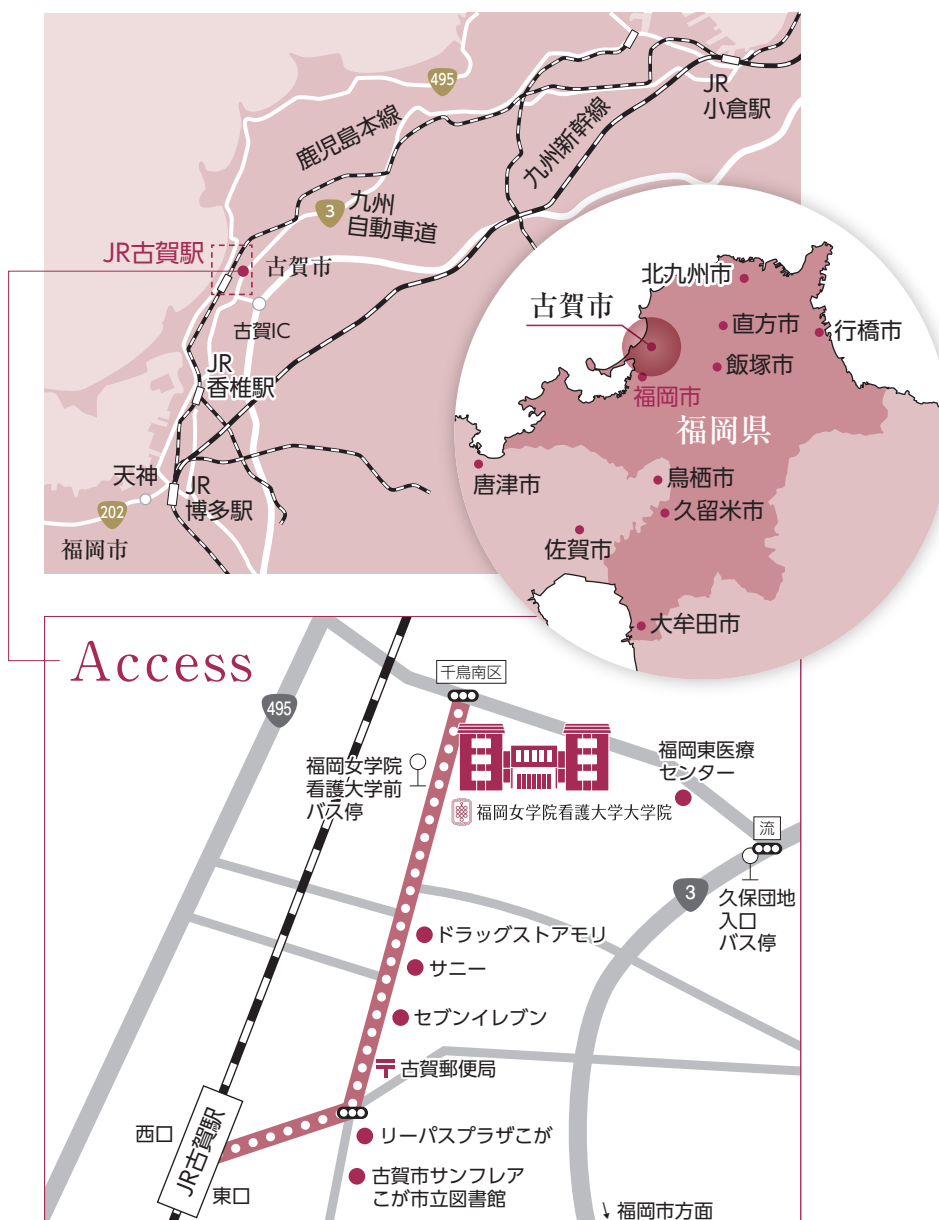
※最新の入試情報に関しては、公式サイト
又はQRコードよりご確認ください

募集要項・出願書類の
ダウンロード



事前相談の
詳細はコチラ





電 JR鹿児島本線 古賀駅下車 徒歩約15分
車 (博多駅から快速19分/小倉駅から快速45分)

<西鉄バス>



福岡方面から 西鉄バス 天神日銀前発
都市高速経由 赤間方面行き急行約40分、久保団地入口下車 徒歩約12分

<スクールバス>

古賀駅・大学間を運行 約5分



九州自動車道古賀インターから約5分
(国道3号線「流」交差点を市街地方面に左折、「千鳥南区」交差点を左折後左手)



福岡女学院看護大学大学院

GRADUATE SCHOOL OF FUKUOKA JO GAKUIN NURSING UNIVERSITY

〒811-3113 福岡県古賀市千鳥1-1-7

TEL:092-943-4174

URL: <https://ns.fukujo.ac.jp/>

